

# 東海経済レポート

## （2017 年 9 月）

### ～企業部門、家計部門ともに回復の動きを継続～

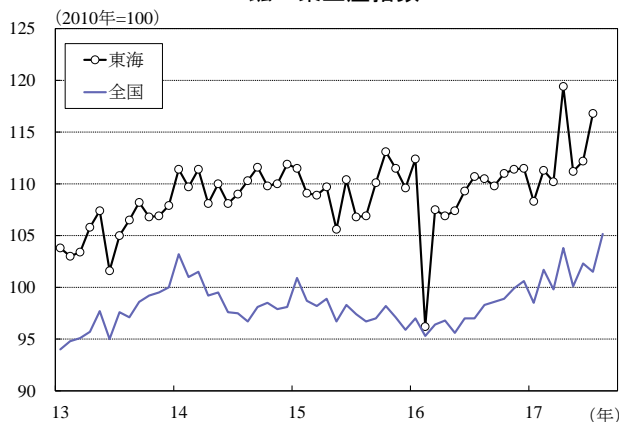
#### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は回復の動きを続けている。企業部門では、生産と輸出が堅調な伸びを維持している。設備投資は一部指標で足踏みが見られるも、設備投資意欲は維持されている。家計部門も、良好な雇用環境の下、小売売上などが底堅く推移中。
  - ▶ 生産は、7 月の鉱工業生産指数が前月比+4.1%と 2 ヶ月連続で上昇。4 月に次ぐリーマン・ショック後 2 番目の高水準を記録。電子部品・デバイスが同+19.8%と大幅に上昇し全体を牽引したほか、他業種も総じて増勢を維持。
  - ▶ 設備投資は、大企業の 4-6 月期の投資額が前年比▲14.3%と 11 四半期ぶりに減少。製造業、非製造業共に同 2 桁減となり、全体でも 2012 年 10-12 月期以来の 2 桁マイナスとなった。先行指標とされる金属工作機械の 7 月の国内受注額も同▲8.7%と 4 ヶ月ぶりの前年割れとなった。
  - ▶ 輸出額（円ベース）は、7 月に前年比+10.0%と 6 ヶ月連続で増加。相手国別では、中国向けが 6 ヶ月連続で同 2 桁増となったほか、EU 向けやアジア向けも同 2 桁の伸びを記録、米国向けも 6 ヶ月連続プラスと好調を維持。品目別では、自動車部品が 9 ヶ月連続で同 2 桁増と好調なほか、一般機械、電気機器、工作機械も同 2 桁の伸びと増勢を維持。一方、自動車は 2 ヶ月連続の減少となった。
  - ▶ 雇用は需給の引き締まった状況が継続。7 月の有効求人倍率は、岐阜県が 4 月と同水準の 1.80 倍と 1992 年 12 月以来の最高水準に再び上昇。また、愛知県は 1.84 倍とリーマン・ショック以降の最高水準域、三重県も 1.65 倍とバブル崩壊以降の最高水準域で、それぞれ推移中。
  - ▶ 個人消費は、7 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+0.2%と 5 ヶ月連続で増加。業態別では、スーパーの 3 ヶ月連続の前年比マイナスに加え、百貨店も 3 ヶ月ぶりに前年割れとなったが、コンビニの伸びでカバーした。また、7 月の新車販売台数は同▲0.1%と、13 ヶ月ぶりに前年比マイナスとなった。
  - ▶ 住宅着工は、7 月に年率換算で 9.2 万戸と前年比+5.4%増加し、2 ヶ月連続の前年比プラスとなった。分譲マンションと持家が前年比マイナスとなったものの、同+26.8%の大幅増加となった貸家に加え、戸建て分譲もプラスを維持し、全体で前年比増となった。

### 【生産①】

7月の鉱工業生産指数は前月比+4.1%と、2ヵ月連続で上昇。リーマン・ショック前の水準域に上昇。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②】

業種別では、電子部品・デバイスの前月比+19.8%が全体を牽引したほか、他業種も総じて増勢を維持。

業種別の鉱工業生産(東海)

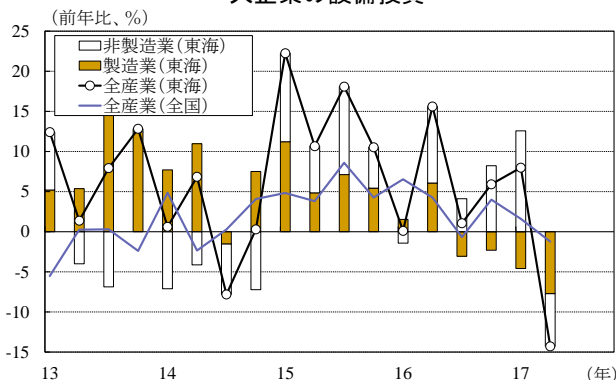


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2.( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準。中部経済産業局算出)  
(資料)中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

4-6月期の大企業の設備投資は前年比▲14.3%と、11四半期ぶりのマイナス。同2桁減は4年半ぶり。

大企業の設備投資

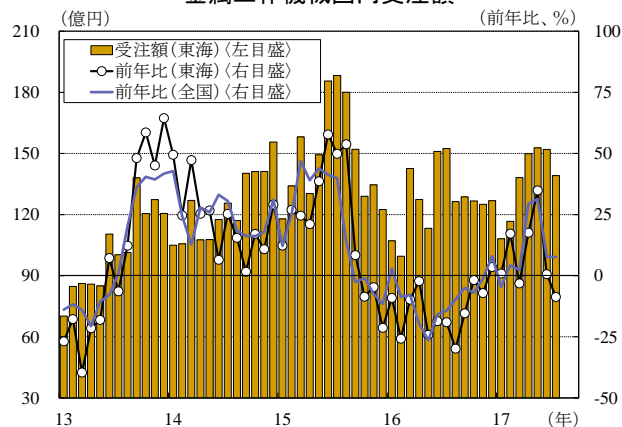


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2.資本金10億円以上の企業を対象。  
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は7月に前年比▲8.7%と、4ヵ月ぶりのマイナス。

金属工作機械国内受注額

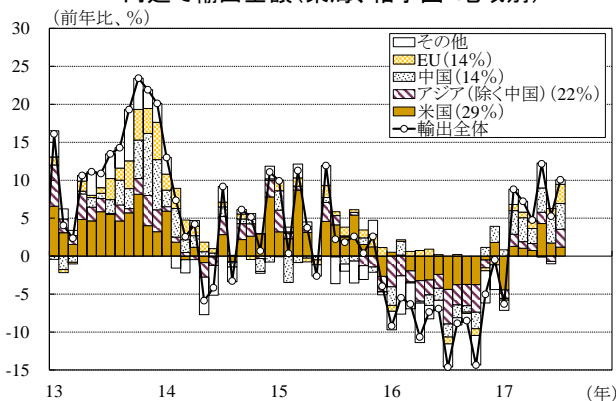


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

7月の輸出額(円ベース)は前年比+10.0%と、6ヵ月連続増加。主要相手国向けが揃って増勢を維持。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

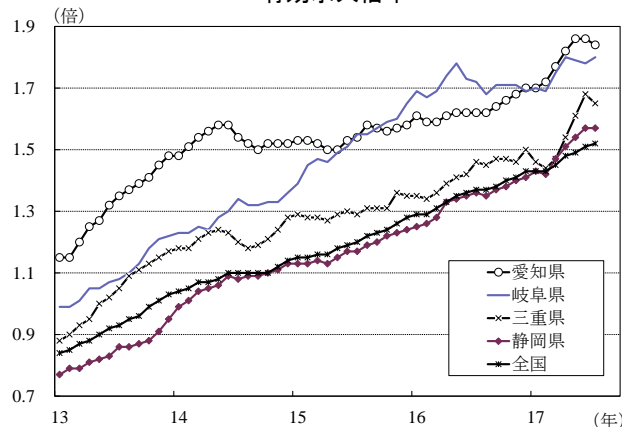


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2.( )内の数値は2016年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

7月の有効求人倍率は岐阜県がバブル後の最高水準に再上昇。愛知県、三重県も高水準を維持。

有効求人倍率

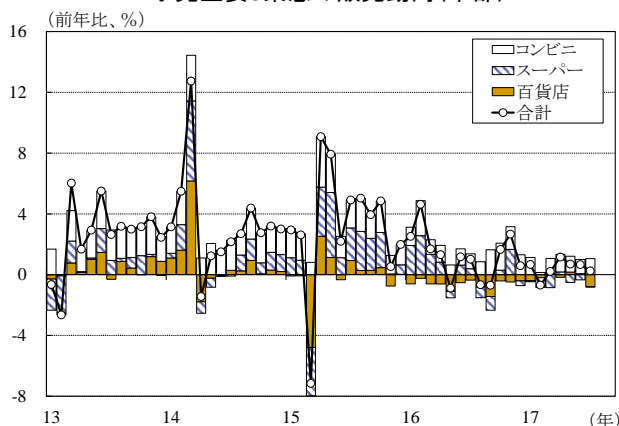


(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【個人消費】

7月の小売主要3業態の販売は前年比+0.2%と、5ヵ月連続で増加。コンビニの伸びが全体を牽引。

小売主要3業態の販売動向(中部)

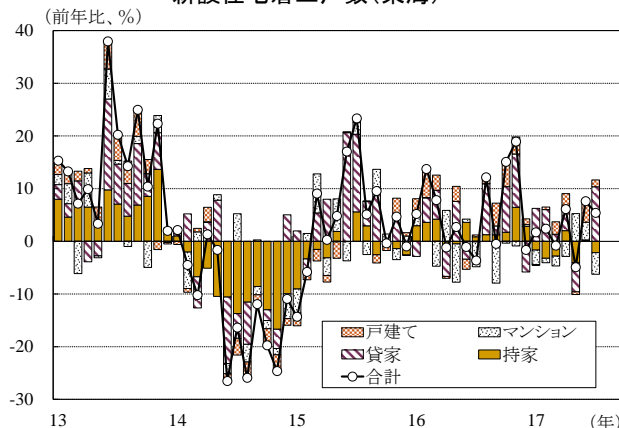


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【住宅投資】

7月の住宅着工戸数は年率換算で9.2万戸と、前年比+5.4%。貸家の同+26.8%増が全体を押し上げ。

新設住宅着工戸数(東海)

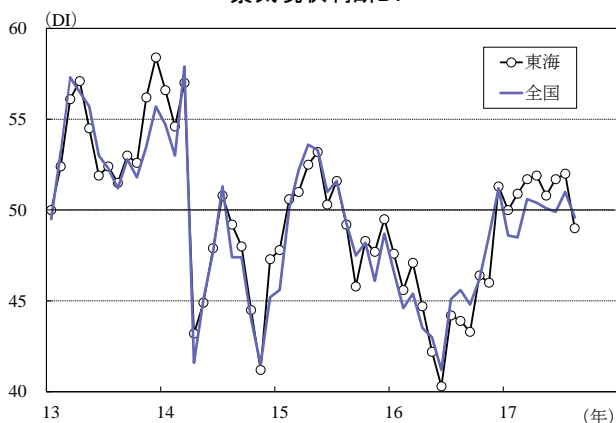


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省東海より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【景気ウォッチャー調査】

8月の景気現状判断DIは49.0と、3ヵ月ぶりの低下。好不調分かれ目の50を9ヵ月ぶりに下回った。

景気現状判断DI

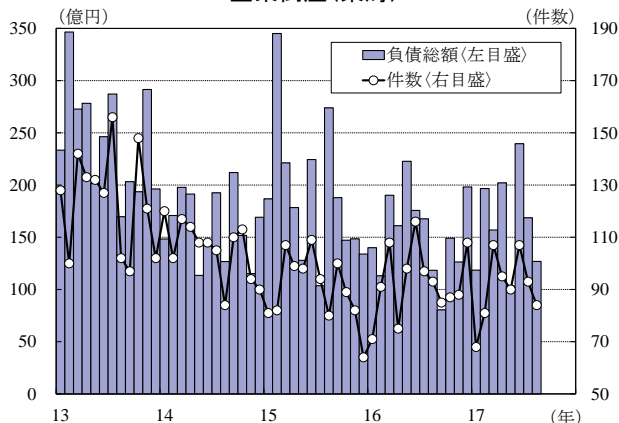


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【倒産件数】

8月の企業倒産件数は84件で前年比▲9.7%の減少。負債総額は同+7.1%の増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【原油価格】

WTI先物は、原油生産量減少や需要見通しの上方修正を背景に、1バレル50ドル前後に再上昇。

原油価格

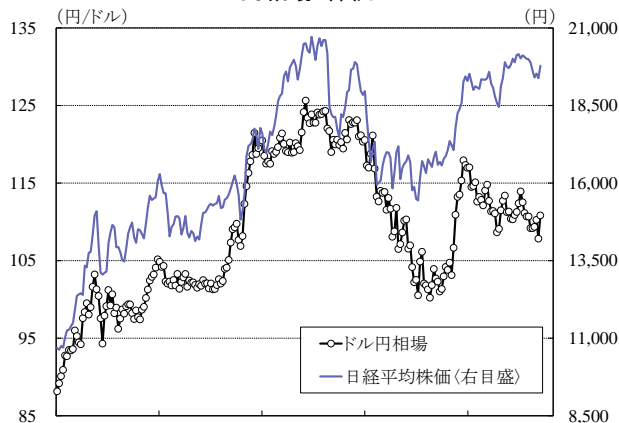


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【円相場・株価】

東アジアの地政学リスク増大等から円高、株価下落が生じたものの、足元は戻り基調で推移。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京UFJ銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。